

広報



AJISU

あじす

1983

№ 376

4 / 5

広報あじす 毎月5日 発行

お知らせ版 毎月20日 発行

山口県吉敷郡阿知須町

発行 阿知須町役場

電話 4111(番代) ☎754-12

印刷 よしの印刷株式会社



安さと新鮮さが売りもの

阿知須町農協・野菜市

ふるさと³
再・発・見



毎週木曜日は、阿知須町農協の「野菜市」の日。会場の農協野菜市場の前には、開店の時刻九時半までに、すでに四十〜五十人の婦人たちが待っている。

一方、会場の中では、農協の職員たちが、キャベツや大根・人参・ホウレン草などの野菜や花木をきれいに並べて、静かに開店の時刻を待っている。

九時半—シャッターが開かれ、外で待っていた人が一斉に会場の中に入る。小走りしながら自分の目的の野菜を買物カゴに入れている人、ダンボール箱一杯に野菜を入れている人、真剣な表情で野菜を選んでいる人などさまざま。

しかし、四〜五分も経過するとさっきまでたくさんあった野菜は、ほとんどなくなります。

この野菜市は、安さと新鮮さを売りものに五十一年の九月にはじめられて約六年半。売り上げも消費者の人氣も安定しているようです。

また、この野菜市に出荷するのを楽しみにしている農家のお年寄りが、町内に約五十人おられるとのこと。農協の話によれば「お年寄りの人が、野菜を作る喜びと出荷する喜びを知り、これを生きがいにしてもらえるんですよ」とのこと。老人の生きがいにも一役かっているようです。

58年度の一般会計

16億4千3百6万6千円

娯楽施設利用税交付金	78,988
地方譲与税	23,178
自動車取得税交付金	19,575
交通安全対策特別交付金	544

三好町長は予算編成の施政方針として、「わが国をめぐる国際環境は年々厳しさを増している。国内でも財政をめぐる環境は厳しい。このような情勢の中で、町財政の健全性の確保に努めながら、基本方針として、『活力と潤いのある心豊かな町づくり』をめざし、具体的には、

一、教育の振興、文化の向上

一、福祉健康の維持増進

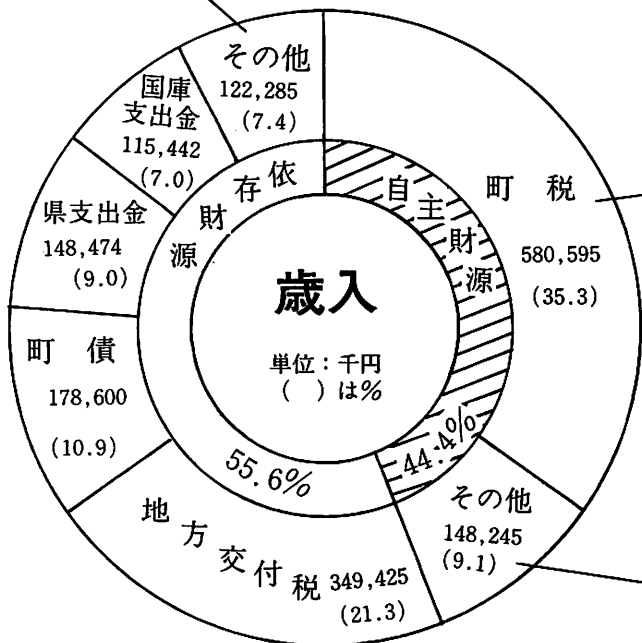
一、経済基盤の充実強化

一、生活基盤の整備

一、干拓開発の促進、条件整備の五項目を基本的政策とする」と述べています。

町 税 の 内 訳

固定資産税	町 民 税	都市計画税	その他
234,337 (40.4)	229,507 (39.5)	51,540 (8.9)	65,211 (11.2)



繰入金	50,000
繰越金	33,000
分担金及び負担金	31,864
財産収入	17,113
諸収入	13,072
使用料及び手数料	3,195
寄附	1

電気税	27,120 (4.7)
たばこ消費税	26,880 (4.6)
軽自動車税	8,040 (1.4)
その他	3,171 (0.5)

一般会計

一般会計は一・七％の増
一般会計の総額は歳入・歳出とも十六億四千三百六十六千円で、前年度予算に対して二千七百八十七万五千円（一・七％）の増です。

歳入

歳入は、町税、地方交付税、町債、県支出金、国庫支出金が主なものです。

町税は前年度より四千六百五十四万九千円（八・七％）増の五億八千五百九十五千円で、歳入総額の三五・三％を占めています。

歳出

歳出は昨年度に引き続いて、経費全般の徹底した節減合理化を図り、需用費等事務的経費の削減を行っています。

歳出を目的別にみると教育費、総務費、農林水産業費、公債費、土木費、民生費、衛生費の順になっています。

議会費

四百九十四万四千円で昨年度より百五十万円の減。人件費と議事録作成委託費が主なものです。

県支出金は一億四千八百四十七万四千円。歳入総額の九・〇％の割合。

町債は一億七千八百六十万円で、前年度より三千五百万円（二四・四％）増。今年度、町債による事業は、中学校建設、山口・小郡広域水道、集会所建築、都市計画、農村総合整備モデル事業などで、歳入総額の一〇・九％。

地方交付税は三億四千九百四十二万五千円で、前年度より百十六万三千円（〇・三％）増、歳入総額の二二・三％となっています。

ます。

昭和58年度一般会計歳出予算目的別 (対前年度比)

昭和57年度 当初予算 1,615,191	教育費	農林水 産業費	総務費	民生費	土木費	公債費	その他
	20.3%	16.3%	16.0%	13.6%	12.7%	9.0%	12.1%
昭和58年度 当初予算 1,643,066							
	26.0%	15.2%	16.6%	8.3%	9.6%	10.6%	13.7%

二億七千二百三十六万円で昨年度より千三百七十八万円の増、町勢要覧作成費や選挙費が含まれています。

総務費

議 会 費	41,940 (2.5)
消 防 費	36,853 (2.2)
予 備 費	16,000 (1.0)
災 害 復 旧 費	7,566 (0.5)
商 工 費	7,278 (0.4)
労 働 費	3,166 (0.2)

民生費

一億三千五百五十九万七千円で、老人医療費支給事業費の減により、昨年よりも八千三百七十四万八千円の減。

衛生費

一億二千三百六十九万八千円で、昨年度より五千三百八十一万九千円の増。伸び率は、八・九・九％。

増額の内訳は、カレキ捨場の造成工事、墓地基礎工事や保健婦の一名増員などで、町民のみなさんの健康の維持増進と疾病の予防事業を進めます。

農林水産業費

二億四千九百四十八万五千円で前年度より千四百三十四万九

商工費

七百二十七万八千円で昨年度より百六十八万六千円（三〇・二％）の増。
商工会へ四百三十万円、商工会館建設補助金として二百二十万円など商工業の振興を図っています。

消防費

三千六百八十五万三千円で昨年度より二千二百二十四万三千円（二二・六％）の増。

土木費

一億五千八百十四万四千円。参宮道路線事業の終了に伴い、昨年度より四千六百九十九万五千円の減。

教育費

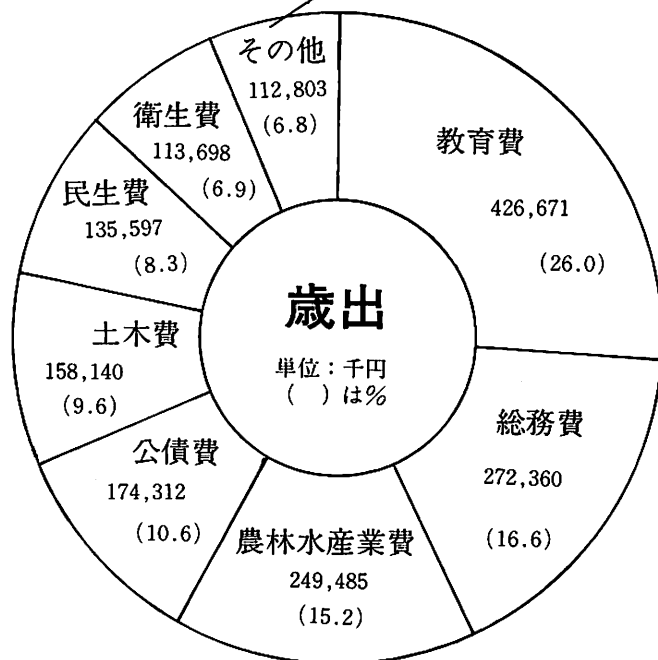
四億二千六百六十七万四千円で昨年度より九千八百四十六万六千円（三〇・〇％）の増。
教育の振興・文化の向上を計るため、中学校建設事業費に一億九千九百八十万円、源河公民館建設事業に千七百五十万円、奨学資金充当金として五百万円

公債費

一億七千四百三十二万二千円で昨年度予算に比べて二千八百二十万円の増、一九・三％の伸び。利子で九千三百九十九万円、元金で八千三百三十二万円となっています。

災害復旧費

七百五十六万六千円で、昨年度の青畑地内の災害復旧の残り全部を完了します。



水道事業

収益的収入	71,208
収益的支出	80,653
資本的収入	89,250
資本的支出	92,263

(表Ⅰ)

(単位 千円)

国民健康保険事業	284,347
交通災害共済事業	3,748
同和地区住宅等貸付事業	6,930
同和福祉援護資金貸付事業	836
老人保健事業	520,663

(表Ⅱ)

(単位 千円)

水道事業会計

水道事業は、今年八月から山口・小郡地域広域水道企業団から送水が開始される予定。これに伴い、計画給水人口も五千人を超えることになり、今年度から水道事業として経営することになりました。

特別会計

特別会計は表Ⅱのとおり。

そのため予算も企業会計方式で、表Ⅰのとおりです。



▲憲章制定に尽力された人たち
(推進協議会の総会で)

まちづくりの願い込めて

『町民憲章』を制定

みんなできめた“目標”“誓い” 憲章制定推進協議会が手づくり

阿知須町に住む人たちの共通の「願い」や「実践目標」「誓い」ともなる『町民憲章』ができました。町内の多くの団体、組織の代表者や学識経験者が参加してまとめあげたもので、いわば、町民手づくりの約束ごとともいえるものです。今後は町民全員がこの実践＝実行に努め住みよいまちづくりをしようという願いが込められています。

議会も承認

町民憲章の制定にあたっては町内の機関や団体の代表者四十三人と学識経験者五人が集って昨年十一月十五日「阿知須町民憲章制定推進協議会」を結成。以来、総会三回、役員会二回、起草委員会四回、役員と起草委員の合同委員会を三回開くなど協議を重ねてまとめあげました。そして、この三月定例町議会に

上程、二十八日に全員賛成による承認を得て誕生したものです。

文案は起草委員会で

文案づくりは中野真琴氏（梅光女子短大助教授・縄田北）を委員長に、兼重一氏（阿知須小学校長・赤迫）を副委員長とする十人の起草委員が担当。これに、役員九人、委員二十九人が協力、町民がどんな内容を希望しているかアンケート調査も行いました。対象は有権者の一割程度を見込み、回収枚数五百九十四部（回収率九一・六七％）

でした。結果は「勤労を尊び働く喜びを大切に」「心のふれあいを大切に」「住みよい環境をつくる」などめだち、これらを尊重して憲章にも盛り込まれました。

成案は総会にはかつて可決し

岡村牧恵・町民憲章制定推進協議会長の話

委員・役員のご尽力と多くの町民のご協力で、阿知須町にふさわしい町民憲章ができ上りました。議会の承認も得たので、私たち町民の手づくりのものとして、みんなで実行につとめていきたいと思っています。町づくりのものと成るのは何といっても「人」です。この憲章が町づくり、人づくりへの約束ごととして、成果をもたらすことを願っています。

三好正之・町長の話 町の将来像実現のためには①自然と人間の調和する「田園都市」②文

たあと、町に提出され、町は町議会で承認を得るという手順をふみました。

町では、この町民憲章が、町内の人々の目にふれるような各所に掲示するとともに、あらゆる機会に朗唱したり、実践活動を進めるよう輪をひろげていくことにしています。「平和で活力にみちた、まちづくり」をめざして、みんなで、これを進めていこうではありませんか。

化的で質の高い「住宅都市」③未来をひらく「科学・技術集積都市」④個性を伸ばす「生涯教育都市」の四つの柱をかけています。これは、行政施策と町民の心がまがが一体となつてこそ実りあるものになるのです。行政執行者として努力いたしますので町内のみならず、町民自身の中から生まれたこの憲章を尊重して住みよいまちづくりにご尽力いただきたいと思ひます。町民憲章制定にご尽力いただいた方々に深く敬意と謝意を表します。

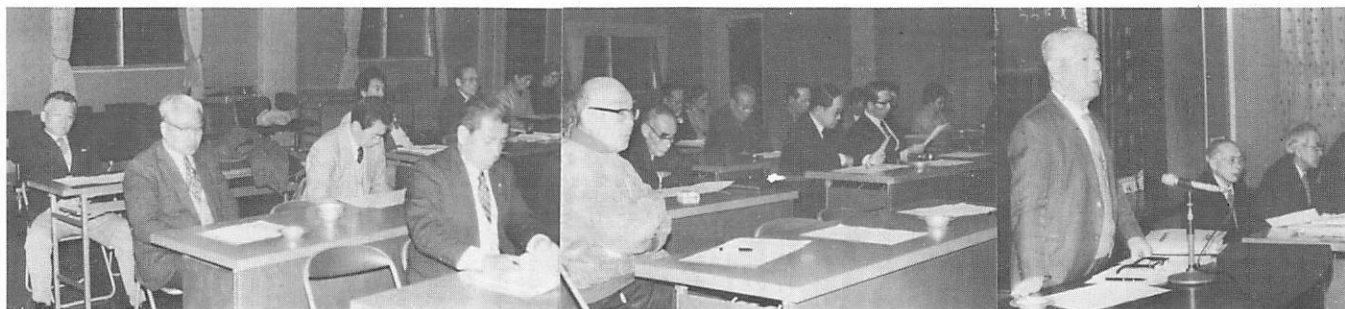
人づくりを基本として 平和で活力あるまちへ

内容は、阿知須町基本構想で本町の将来像を「平和の中に健康で快適、安全、利便、活力ある暮らしが保障されるまち」としていることから、その実現は、

「まず人づくりで」ということを基本としています。構成は前文と本文があり、前文には、平和で活力のあるまちづくりをめざそう。阿知須町の

発展は一人ひとりのしあわせにつながるものだ。そのために、町民の約束ごとをつくり、実行することを誓う、という意味のことを盛り込んでいます。本文は五つの項目に分けてできています。その意味づけ、実践具体例について、推進協議会では次のようなとらえ方をしています。

スポーツ・健康



阿知須町民憲章

豊かな自然と環境に恵まれた、わたしたちのまち阿知須の発展は、わたしたち一人ひとりの幸せにつながります。

平和で活力にみちた、まちづくりを願って、この憲章を定め、実践を誓います。

一、勤労を尊び、奉仕の精神で励みます。

一、スポーツに親しみ、健康で明るいくらしを築きます。

一、生涯を通して学び、うるおいのある生活を求めます。

一、きまりを守り、温かい心のふれあいを広げます。

一、伝統と自然を大切にし、住みよいまちをつくりまします。

一、勤労を尊び：

〔意味づけ〕生活を高め、豊かな生活を求める。お互いに感謝の心をもつ。働く喜び、ありがたさを知る。

〔具体例〕▽すすんで人のために働く▽すすんで奉仕活動に参加する▽いつも感謝の心を忘れない



勤 労 ・ 奉 仕

一、スポーツに：

〔意味づけ〕スポーツを通して健全な心と体をきたえる。スポーツ行事に参加すること

でふれ合いの場を求め合う。健康で安全な生活をめざす。

〔具体例〕▽つらいことでも最後まで頑張る▽明るいかけ声元氣よく▽一日一回体力づくり▽体育行事に積極的参加

一、生涯を通じて学び：

〔意味づけ〕個性を伸ばし、

教養・文化を高める。教育の究極の目標であり、学校教育はその基礎づくりである。

〔具体例〕▽趣味をもち個性を伸ばす▽自分の職業に生きがいをもつ▽若い力を育てる▽意欲と根気をもつ



学 ぶ ・ ふ れ 合 い

一、きまりを守り：

〔意味づけ〕望ましい人間関係を求める。秩序ある社会建設を。差別と偏見の解消へ。健全で明るい家庭を。

〔具体例〕▽明るいあいさつやさしいことば▽思いやりと親切▽差別と偏見をもたない

一、伝統と自然を：

〔意味づけ〕郷土をひらいた先人への感謝、郷土愛の心を育て伸ばす。自然保護と公害防止。人と自然の調和

〔具体例〕▽草木を愛し育てる▽緑を大切に▽先人の心を学ぶ▽郷土文化を守る▽山河の美しさを守る

「干拓地開発基本構想調査」まとまる

工業・研究開発など組合せ

先端技術や生活関連施設の場に

阿知須町が将来発展するため

には干拓地の開発が大きなカギを握っています。そこで、町では五十七年度事業として産業立地研究所（東京）に「阿知須干拓地開発基本構想調査」を委託していました。この調査報告書がこのほどでき上りました。

この報告書には阿知須干拓地の

のもつ諸条件を明らかにしながら、宇部テクノポリスの開発区として位置づけ、海に面した場所でもできる先端技術産業の工業立地を中心として、研究開発施設や流通、スポーツ・レクリエーション、公共、漁業振興、生活関連施設など設置することを骨子とした内容を盛り込んでいます。

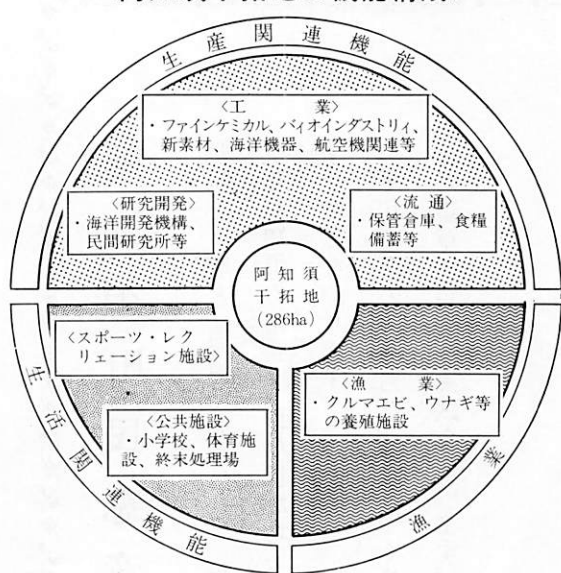
町では、この報告書の内容を尊重しながらさらに検討のうえ開発の実現をめざすことにしています。

286
ヘクタール

の方向づけ

阿知須干拓地は食糧増産をめざして農林省（現在の農林水産省）が国営事業として着手、昭和二十二年から三十九年にか

〈阿知須干拓地の機能構成〉



て造成したものです。

総面積は二八六・三九ヘクタール（うち南工区九五・三三、北工区一九一・〇六）あり、阿知須中学校の運動場の百四十三倍に当たります。周囲の提防の長さは五千二百二十五メートル、事業費は十億四千三百六十万円でした。

これを、今後どのように活用するか、調査報告書はその方向づけを示したものです。

自然環境を守りつつ

開発の方針としては、まず、次のような考え方にたっています。①阿知須干拓地は市街地に近

発構想の策定にも携わった頭脳集団です。

報告書は安部一成氏（山口大学経済学部教授）を委員長とする企業立地や地域開発の専門家ら九人による委員会を構成、討議を重ねてまとめあげられました。この調査報告書は三月四日町公民館で町議会議員、町内各界の重だつた人を中心に関わりました。

自然環境を守りつつ

いから、市街地形成の一部の地区として位置づけ、住民が日常的に利用できる空間を、また、域外からも人が集まり、人的交

さらに調査、検討を

埋立て造成も今後の課題

阿知須干拓地は農林水産省の所有です。これを利用するためには、払下げてもらうことがまず決事です。そのほか、開発が実現するまでにはいろいろな課題があります。これについては報告書では次のように指摘しています。

○開発を進めるには周辺市町や県との調整、協力が必要。特に工業、研究開発施設、広域的なスポーツ・レクリエーション施設、終末処理場などは広域圏の中で位置づける。

○干拓地と市街地を一体化するためには市街地の都市整備が必要である。

流を高めていくために、特色のある魅力的な空間を創出する。②町及び周辺地域が、バランスのとれた産業構造を確立し、長期的に安定した発展形成を促進するためのひとつの開発区として位置づけ、先端技術産業及び研究開発の展開の場として、それにふさわしい産業空間を創出する。

③干拓地の土地利用に当っては、複合的な機能による構成とし、自然環境の保全、ゆとりのある良好な環境の確保を目標に、自然空間（湿地、緑地、水面等）と産業空間や施設空間との調和を考慮した開発とする。

つまり、この干拓地は住宅、商店街などに近いので、その一部の地区と考え、人々が日ごろ利用できるようなところとする。また、先端技術の生産や研究

テクノポリス

の位置づけで

開発を進める。それらの施設をつくるに当っては自然環境を守ることを中心掛け、工場、その他の施設との調和をはかりながら土地利用を進める。ということだ。

構想を組立てる段階では、この干拓地で考えられる案として

- ①ニュータウン型（住宅地）
- ②スポーツ・レクリエーション型
- ③農業振興型
- ④工業・研究開発型
- ⑤流通備蓄型
- ⑥エネルギー型（火力発電所）

の六つをまずとりあげ、これを土地条件、まちづくり、広域的な役割分担、立地需要および将来動向、開発効果などの面からそれぞれ検討しました。

その結果、基本的な方向として「工業・研究開発機能を主体とする複合的な機能構成による開発」を位置づけています。

その中には、工業、研究開発、流通、漁業・公共、スポーツ・レクリエーション等の施設の組入れる含みをもたせていますが宇部テクノポリスとの整合性をはかることが大事だとしています。

干拓関係については引続き

て次号に掲載し、みんな考えていく資料とする予定です。

ふれあい 広場



「ふれあい広場」はみなさんのページです。
町政への提言や身近かな話題、絵画、写真など町企画室（有線二四一）へお寄せください。

まごころタクシー券差し上げます

町では、障害者の日常生活の利便と社会活動の拡大を願って、身体に障害のある人などを対象に「まごころタクシー券」を発行しています。

対象者が新年度分のタクシー券を希望の人は申請してください。

▽対象者 第一種身体障害者手帳または療育手帳Aの所持者
▽割引額 基本運賃額が無料
▽適用会社 タクシー総合センター（宇部市）加盟タクシースタッフ（宇部市）加賀タクシー（宇部市）中央交通、宇部山電、宇部構内、スズラン、

トモエ、宇部第一、ときわ、宇部相互、丸王第一
▽申請に必要なもの 印鑑、身体障害者手帳または療育手帳
▽交付枚数 一冊（二十枚）
▽問合せ・申請場所 住民課福祉係（電話四一一、有線二四一）

☆五十七年度中に交付したものは、期限切れのため使用できません。

町職員異動 4月1日付

（一）カッコ内は旧
▽税務課課徴徴収係（課長同格）

松尾 君代

短歌

平海アサノ

港内の泥上げてゐる浅瀬船その巨大さに目を見張りゐる

藤重あや子

風邪に臥す半月余り窓の辺の鉢の紅梅も盛りすぎたり

正司ウメノ

十一階の窓に見え居り湯の町のネオンに映えて光る風花

教職員の異動

教職員の人事異動が四月一日付で発令され、本町関係は中学九人、小学校十三人の異動がありました。

【小学校】上段が新任校

（教諭）

阿知須 築田 道子	興進
井 関 山根 清美	右田
井 関 青木 則篤	勝山
良 城 中嶋 豊子	阿知須
華 浦 中村 和夫	阿知須
県文化課 藤田辰夫	阿知須
阿知須 戸川 美里	新採
井 関 吉田 裕子	新採
退 職 原 米子	阿知須
退 職 右田 直己	阿知須
退 職 大谷 敦子	阿知須
退 職 小倉 康枝	井 関
退 職 佐伯肇一郎	井 関

きて答へぬ永病む妻は

松代 二郎

路の薔梅と椿と活けありて駅のトイレのすがすがしけれ

石田サダ子

発たしめて何にいらだつ今日の吾長くかかちて食器を洗ふ

村井 薫

無縁墓の草引き居ればうぐひすの未だ整はぬ声に鳴き出づ

砂村ヤス子

衝撃に耳をはなれぬ言葉なり亡

木原百合雄

誕生日何が欲しいと訊ねれど泣



農業振興計画書作成の事務局として活躍

高野 義 一さん（三）

北祝

阿知須町農業協同組合が作成した「農業振興計画書」の事務局を務めた人。

「まじめ上げるまでに約二年を要しました。農業をみなさんに理解してもらおうと思えば、地道な努力が必要だと思います」とのこと。本町の農業の問題点を時間をかけて浮きぼりにし、その解決策をじっくりと練っていった苦労がうかがえる。



農家の人が、もしこの本を手にしたら「わが家の将来の農業を考えよう」ということで、ぜひ読んでほしい。そして新し

近く全農家に配るといふが、すでに町外の農業関係者から高い評価を受けている。阿知須農協の生産指導課長。

阿知須 田村 俊 太華
阿知須 秋枝 京子 木間
阿知須 阿部 芳子 小郡

小郡 藤津久美子 阿知須
阿知須 児島美佐子 中央
退 職 白井つたえ 阿知須

ぼくの学校

わたしの学校

（阿知須小学校）

8日 始業式	5月6日 集金日
9日 入学式	（阿知須中学校）
11日 給食開始（二年一六年）	8日 入学式、始業式
13日 給食開始（一年）	9日 部落生徒会
20日 ツベルクリン（一年および二年の一部）	11日 給食開始
22日 ツベルクリン反応検査、B・C・G	12日 交通教室
26日 ぎょう虫検査	14・15・18・20日 家庭訪問
30日 PTA総会、参観日	21日 生徒総会
5月2日 小運動会	25日 諸会費納入日
（井関小学校）	26日 春季郡体
8日 入学式、始業式	28日 育友会総会、参観日
	5月2日 避難訓練
	4日 諸会費納入日

おし らせ



固定資産税・町県民税

納期前納付に報奨金

四月は五十八年度の固定資産税(含む都市計画税)最初の納入月です。

四月十七日から三十日までに一年分をまとめて納められると納期前納付といって報奨金が一〇〇%受けられます。

報奨金の額は一期分の納税通知書に記載してありますが、利率に換算すれば月一%。計算方法は、二期分の一%に十八か月を乗じた額が報奨金額となるわけです。

全納希望者(口座振込み者は電話連絡)は、後日送付する納

一〇〇%は三十日まで納付

付書を町税務課窓口にご持参ください。

同じように、町県民税は最初の納期が六月。六月三十日までに一年分を納めると十か月分が報奨の対象となります。

金融機関の口座振込みで全額納付を希望される方は、固定資産税は四月十九日までに、町県民税は六月十九日までに町税務課賦課徴収係(電話四一一内線一一五番有線二五三番)までご連絡願います。

今年度の各税納期は別表のよう

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
町 県 民 税			○		○		○			○		
固 定 資 産 税 (都市計画税含)	○			○					○		○	
軽 自 動 車 税	○											
国 民 健 康 保 険			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

善意はここに

片岡さんから百万円

若山産業社長片岡敏郎さん(宇部市西區桃山)から亡父片岡辰市さん(同社会長、阿知須合板工場創設者、今年一月死去)の香典返しとして町へ百万円の

寄付をいただきました。町では故人のご遺志を生かせるよう有効に使わせていただくことにしています。

◇

〔町へ〕
◇広報送料▽二万円▽生田淳次さん(宇部市東琴芝二丁目二番二十、砂郷二区出身)▽六百万円▽木村英雄さん(東京都練馬区早宮三の四十八の六、赤迫出身)

税務課が二階に移転

有線番号も変更

税務課はこれまで役場庁舎一階にありましたが、三月三十日から二階旧会議室(議会議場の隣り)に移転し事務を行っています。今後土地台帳や地籍図を閲覧したい人は二階の税務課で

課 名	新有線番号
税務課	二二五三
保健衛生課	二二二二
都市水道課	二二四一
企画室	二二四四
会議室	二二四四
廃 止	

国民健康保険税の

納期は六月から

国民健康保険税は昨年は四月から翌年三月までの十二回納期で四・五月を暫定課税(所得を推定して課税)とし六月から本

町民運動会は五月十五日(日)

みんなそろって参加しましょう

課税(実際の所得に基づいて課税)として事務処理を行ないましたが、今年度から暫定課税が廃止されます。そのため、納期は六月から翌年三月までの十回となります。

4 月 の メ モ

- 8 日 ツベルクリン反応検査・B・C・G (後1時)
- 10 日 山口県議会議員選挙
- 12 日 育児相談 (後1時半)
- 19 日 1歳6か月児健康診査 (後1時半) 三種混合 (後2時半)
- 21 日 心配ごと相談 (前10時) 交通事故相談 (前10時)
- 23 日 献血 (前9時) (会場記入のないのは役場)

公 民 館 メ モ

- 10 日 本読み会 (前10時)
- 19 日 切り絵教室 (後1時半)
- 20 日 保存食教室 (前9時半・話し合い)
- 21 日 俳画教室 (後1時半)
- 22 日 あじのす大学開講式 (後1時半)
- 26 日 婦人学級開講式 (前9時半)

今 月 の 納 税 ～ 4 月 ～

- 軽自動車税
- 固定資産税

死 亡

ご冥福を祈ります

氏 名	死亡月日	年令	部 落
中谷 和也	1・5	推定 35	中 村
西村 フシミ	3・9		東 村
村田 ユキミ	3・17		向 井
吉村 調	3・18		西 条
徳本 菊三郎	3・21		小 西
磯部 留三	3・23		浜 西
岩本 タカ子	3・25		浜 西

おすこやかに

親の名続柄子の名月日部 落	
網木健三長男 涉 2・23	岩西前
辻野純夫二男 正道 2・21	岡 岡
水野正男長女 恭子 2・22	向井岡
福来利彦二女 優子 2・23	旦 西
田邊文雄長男 雄史 2・27	岩 西
國重敏雄三女 麻美 3・5	小 西
新谷隆治長男 幹也 2・28	西 条
吉村 明長男 隆宏 3・8	北 祝

町の住民登録人口

(58年3月末日現在)	前月比
世帯 2,236世帯	-3
人口 8,417人	-7
(男 3,940人 女 4,477人)	
(国勢調査 昭和55年10月1日)	
世帯 2,283世帯	
人口 8,327人	
(男3,887人 女4,440人)	